【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第７区分
【発行日】平成26年11月27日(2014.11.27)

【公開番号】特開2013-95567(P2013-95567A)
【公開日】平成25年5月20日(2013.5.20)
【年通号数】公開・登録公報2013-025
【出願番号】特願2011-241347(P2011-241347)
【国際特許分類】
Ｂ６５Ｇ　65/20　(2006.01)
Ｂ６５Ｇ　63/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６５Ｇ　65/20
Ｂ６５Ｇ　63/00　Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成26年10月8日(2014.10.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
左右方向に延びる回転軸を中心に上下に回転するリング状の回転フレームと、その回転フレームに固定されたバケットと、を備え、
上記バケットは、少なくとも一部が上記回転フレームの外縁よりも径方向外方に位置すると共にバケット移動方向に向けて開口した掻き込み口と、その掻き込み口と上記移動方向で対向する底面部と、上記回転フレームの径方向内方側に開口した排出口と、を備えて、回転フレームの回転に伴いバケットが下側から上側に移動する際に、上記掻き込み口からバケット内にバラ物を掻き取ると共に、そのバケットが予め設定した高さ位置まで上方に移動すると、バケット内のバラ物が上記排出口から落下して当該バラ物を払い出す構成のリクレーマであって、
上記バケット底面部の少なくとも上記排出口側の部分は、側面視で、上記回転フレームの径方向に対し、予め設定した設定角度だけ上記移動方向とは反対方向に傾斜していることを特徴とするリクレーマ。
【請求項２】
上記掻き込み口からバラ物を掻き取ったバスケットが予め設定した高さ位置まで上方に移動するまでの間、上記バスケットの排出口を閉塞するためのライナーを備えることを特徴とする請求項１に記載したリクレーマ。
【請求項３】
上記ライナーの下端部の位置は、回転フレームの径方向が、水平方向に向く位置よりも上記設定角度だけ上方となる位置若しくはそれよりも高い位置に設定されていることを特徴とする請求項２に記載したリクレーマ。
【請求項４】
上記バケットの掻き込み口も、側面視で、上記回転フレームの径方向に対し、上記移動方向とは反対方向に傾斜させたことを特徴とする請求項１～請求項３のいずれか１項に記載したリクレーマ。
【請求項５】
上記設定角度は、５度以上５０度以下であることを特徴とする請求項１～請求項４のい

ずれか１項に記載したリクレーマ。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
上記課題を解決するために、本発明のうち請求項１に記載した発明は、左右方向に延びる回転軸を中心に上下に回転するリング状の回転フレームと、その回転フレームに固定されたバケットと、を備え、
上記バケットは、少なくとも一部が上記回転フレームの外縁よりも径方向外方に位置すると共にバケット移動方向に向けて開口した掻き込み口と、その掻き込み口と上記移動方向で対向する底面部と、上記回転フレームの径方向内方側に開口した排出口と、を備えて、回転フレームの回転に伴いバケットが下側から上側に移動する際に、上記掻き込み口からバケット内にバラ物を掻き取ると共に、そのバケットが予め設定した高さ位置まで上方に移動すると、バケット内のバラ物が上記排出口から落下して当該バラ物を払い出す構成のリクレーマであって、
上記バケット底面部の少なくとも上記排出口側の部分は、側面視で、上記回転フレームの径方向に対し、予め設定した設定角度だけ上記移動方向とは反対方向に傾斜していることを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
次に、請求項２に記載した発明は、請求項１に記載した構成に対して、上記掻き込み口からバラ物を掻き取ったバスケットが予め設定した高さ位置まで上方に移動するまでの間、上記バスケットの排出口を閉塞するためのライナーを備えることを特徴とする。
次に、請求項３に記載した発明は、請求項２に記載した構成に対し、上記ライナーの下端部の位置は、回転フレームの径方向が、水平方向に向く位置よりも上記設定角度だけ上方となる位置若しくはそれよりも高い位置に設定されていることを特徴とする。